



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 川西倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9322 URL <http://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若松 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 細川 晃伸

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,804	0.5	508	6.4	577	17.6	675	89.1
29年3月期第3四半期	16,726	0.3	478	41.9	491	35.8	357	58.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 773百万円 (178.8%) 29年3月期第3四半期 277百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	88.83	
29年3月期第3四半期	47.00	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	28,934	17,762	57.7
29年3月期	28,081	16,233	56.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,681百万円 29年3月期 15,989百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の内訳 記念配当 2円00銭

配当予想の修正については、添付資料P.03'1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明、および、本日(平成30年2月13日)に公表いたしました「配当予想の修正(創立100周年記念配当)」に関するお知らせをご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	3.6	540	1.6	600	9.8	660	78.2	86.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	8,258,322 株	29年3月期	8,258,322 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	650,292 株	29年3月期	653,708 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,606,674 株	29年3月期3Q	7,604,614 株

(注)自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.03「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善する中、設備投資の増加や個人消費が持ち直すなど景気の回復基調が続いております。世界経済においてもアメリカや中国をはじめとするアジアでも景気の回復基調が続いており、今後も緩やかな回復が期待されますが、金融市場の動向や政策の不確実性の影響等、不透明な状況も懸念されます。

物流業界におきましては、物流の合理化、高品質化への要求がますます強まり、輸出入貨物の減少や競争の激化等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画『Vision2018・明日に向かって』で掲げる、流通加工等の物流サービスの強化等による既存事業の拡大・強化、新倉庫建設やASEAN地区への投資等の成長に向けた戦略的投資を行うなど、経営基盤の安定、強化に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、神戸港での港湾運送取扱業務の増加、前期に購入した信託物件の通期での業績寄与、前期に連結子会社とした運送会社の業績が通期で寄与するなどの収入の増加要因もありましたが、国際物流業務における貨物の取扱いの減少や食料品の貨物保管高が減少するなどの減少要因もあり、営業収益は前年同期を若干上回る程度となりました。営業利益は、前期に発生した信託物件の初期費用が減少したほか、下払作業費や運送費等が減少したことにより前年同期を上回り、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比0.5%増加の16,804百万円、営業利益は前年同期比6.4%増加の508百万円、経常利益は受取配当金の増加により前年同期比17.6%増加の577百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益408百万円の計上等により前年同期比89.1%増加の675百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①国内物流事業

国内物流事業においては、前年同期に比べ普通倉庫貨物、冷蔵倉庫貨物とも入出庫高は増加したものの、保管高がやや低調に推移するなど、倉庫業務全体では前年同期を若干下回りました。一方神戸港での港湾運送取扱業務が増加したほか、物流施設の賃貸収入の増加、前期に連結子会社とした運送会社の業績が期初から寄与するなど、国内物流業務全体では営業収益は前年同期を上回りました。セグメント利益についても、収益の増加に伴い下払経費が増加したほか、前期に稼働した新倉庫の減価償却費は増加しましたが、再保管経費や修繕費等の経費が減少したことにより前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比1.9%増加の14,256百万円、セグメント利益は前年同期比7.8%増加の946百万円となりました。

## ②国際物流事業

国際物流事業においては、貨物の取扱いが前年同期に比べて減少したほか、海外現地法人の業績が低調に推移するなど営業収益は前年同期を下回り、セグメント利益についても海外での新倉庫稼働に係る経費の計上等もあり前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比9.6%減少の2,252百万円、セグメント利益は前年同期比38.8%減少の38百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業並びに太陽光発電の売電事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比24.8%増加の336百万円、セグメント利益は前年同期比91.0%増加の183百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、営業未収入金が増加したほか、新規投資により土地や建設仮勘定が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ853百万円増加し28,934百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ675百万円減少の11,172百万円となり、また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したほか、連結子会社の増資により非支配株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,529百万円増加の17,762百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

配当予想につきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、当社創立100周年を記念しまして、期末配当金を2円増配し1株当たり配当金を8円といたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,210,044	3,559,222
受取手形及び営業未収入金	3,215,654	3,630,858
繰延税金資産	99,011	57,121
その他	561,528	553,620
貸倒引当金	△434	△367
流動資産合計	8,085,803	7,800,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,279,811	7,000,289
機械装置及び運搬具(純額)	926,556	936,524
工具、器具及び備品(純額)	92,676	102,099
土地	4,960,856	5,649,289
リース資産(純額)	956,498	917,222
建設仮勘定	937,550	1,629,131
有形固定資産合計	15,153,950	16,234,557
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	640,181	589,731
無形固定資産合計	2,537,715	2,487,266
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108,096	1,230,006
長期貸付金	6,284	5,088
繰延税金資産	33,975	31,161
退職給付に係る資産	84,359	70,214
差入保証金	763,622	762,059
その他	311,374	317,511
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,304,113	2,412,442
固定資産合計	19,995,780	21,134,266
資産合計	28,081,584	28,934,723

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,783,609	1,695,717
短期借入金	1,711,643	991,508
未払法人税等	143,475	213,070
賞与引当金	245,066	81,242
役員賞与引当金	2,400	1,620
その他	341,836	454,955
流動負債合計	4,228,030	3,438,113
固定負債		
長期借入金	6,180,666	6,212,535
繰延税金負債	211,722	247,048
役員株式給付引当金	19,622	34,294
退職給付に係る負債	999,328	1,033,219
その他	208,723	206,929
固定負債合計	7,620,063	7,734,026
負債合計	11,848,094	11,172,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,862,150	1,892,395
利益剰余金	12,247,734	12,815,564
自己株式	△585,809	△582,859
株主資本合計	15,632,075	16,233,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,013	367,907
為替換算調整勘定	80,687	52,476
退職給付に係る調整累計額	20,124	27,769
その他の包括利益累計額合計	357,825	448,154
非支配株主持分	243,588	1,081,328
純資産合計	16,233,490	17,762,583
負債純資産合計	28,081,584	28,934,723

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	16,726,564	16,804,335
営業原価	14,794,144	14,712,650
営業総利益	1,932,419	2,091,684
販売費及び一般管理費	1,454,287	1,583,085
営業利益	478,132	508,599
営業外収益		
受取利息	1,985	12,387
受取配当金	38,782	83,344
不動産賃貸料	11,479	10,629
その他	11,460	10,987
営業外収益合計	63,708	117,349
営業外費用		
支払利息	42,102	38,661
為替差損	6,678	5,737
その他	1,852	3,685
営業外費用合計	50,633	48,083
経常利益	491,207	577,864
特別利益		
固定資産売却益	61,282	16,483
投資有価証券売却益	—	408,450
特別利益合計	61,282	424,933
特別損失		
固定資産売却損	697	6
固定資産除却損	938	3,084
役員退職慰労金	1,105	—
厚生年金基金解散損	12,391	—
特別損失合計	15,131	3,091
税金等調整前四半期純利益	537,357	999,707
法人税、住民税及び事業税	137,333	297,380
法人税等調整額	32,817	27,683
法人税等合計	170,150	325,064
四半期純利益	367,207	674,642
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,801	△1,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	357,405	675,699

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	367,207	674,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,952	110,894
為替換算調整勘定	△159,032	△19,284
退職給付に係る調整額	21,469	7,645
その他の包括利益合計	△89,610	99,255
四半期包括利益	277,596	773,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,561	766,028
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,964	7,869

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	13,989,587	2,493,055	16,482,642	243,921	16,726,564	—	16,726,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	25,779	25,779	△25,779	—
計	13,989,587	2,493,055	16,482,642	269,700	16,752,343	△25,779	16,726,564
セグメント利益	878,237	63,626	941,863	95,816	1,037,680	△559,548	478,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△559,548千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△555,128千円及びその他の調整額△4,419千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,256,800	2,252,750	16,509,551	294,784	16,804,335	—	16,804,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	41,892	41,892	△41,892	—
計	14,256,800	2,252,750	16,509,551	336,676	16,846,228	△41,892	16,804,335
セグメント利益	946,695	38,940	985,636	183,046	1,168,682	△660,083	508,599

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△660,083千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△653,171千円及びその他の調整額△6,911千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。